

文教警察委員会 県外所管事務調査の概要

◆調査日程 平成28年8月1日(月)～8月3日(水)

◆調査先・調査内容

①新潟県警察本部機動隊(新潟県新潟市東区河渡)

調査内容：中越大震災に伴う災害警備活動について

新潟県警察本部では、平成16年に発生した中越大震災の経験を踏まえ、発災時の捜索・救助活動、治安維持活動、交通渋滞対策等に必要な訓練・教養を行い、いつ・どこで災害が発生しても部隊を派遣できる対策を講じるとともに、地域ごとに、県・市町村、土木関係者や福祉関係機関等が定期的に会合を開き、互いの顔が見える関係づくりに取り組んでいる。

本年4月に発生した熊本地震における活動の検証、また、今後、高い確率で起こる可能性があると言われる南海トラフ地震に対する備えとするため、中越大震災における警察署の被害状況、警察活動における部隊出動数、航空隊による夜間の被災情報の収集、倒壊した家屋の捜索、オフロードバイクによる情報収集・捜索・救出、発災直後の高速道路の渋滞状況、一般道における信号機の倒壊状況、避難所支援活動や被災地の治安維持活動等について調査を行った。

<主な質疑等>・中越大震災の経験を踏まえた関係機関との連携強化について



②新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター(新潟県新潟市中央区清五郎)

調査内容：スポーツ拠点施設の機能整備状況について

当センターは、新潟県民の健康づくり活動の支援と競技力水準の向上を行う拠点施設であり、デンカビッグスワンスタジアム内に設置されている。

健康づくりの活動では、生活習慣病、健康不安のある県民を対象に、週1回の生活習慣改善コースを実施し、必要な運動や栄養の指導、予防・改善方法等について助言等を行っている。また、同じコースを市町村の健康づくり担当職員に対して行い、そのノウハウを広めている。

競技力水準の向上では、アスリートや指導者等を対象にスポーツドクターや専門スタッフが科学的な体力測定・動作分析等を行い、必要な体力の評価・分析、その結果に基づく適切な指導・助言等を行っている。

このほか、健康・スポーツセミナーの開催、フィットネスホールの一般利用等を通じ、県民の健康づくり・競技力水準の向上に努めており、同センターの施設・設備、事業の概要等について調査を行った。

<主な質疑等>・競技力向上の取組の成果について



③新潟県立佐渡高等学校（新潟県佐渡市石田）

調査内容：地域の特色ある学校づくりについて

当校は、創立120周年を迎える新潟県屈指の伝統校であり、全校生徒数は597人（平成28年4月現在）、学級編成は全日制の普通科のみで1学年5学級、進路状況では大学進学率が70%（平成28年3月現在）となっている。

同校では、文部科学省の事業を活用し、佐渡市と協働で、「ふるさとへの愛着や誇りを育むグローバル人材育成プログラムの開発へ向けた実践研究」に取り組んでおり、米国姉妹校との交流活動、佐渡地区英語スピーチコンテスト、佐渡市内で開催される国際トライアスロンにおける逐次英訳や、外国人観光客に対する英語ボランティアガイド活動等を行っている。

今年度から、佐渡独自の自然や歴史・文化について、小中高を通じて学ぶ教育「佐渡学」の発展形と位置づけ、循環型社会に向けた探求活動（自然エネルギーの活用調査等）も行っており、こうした独自の自然や文化、地域の主要産業を生かし、グローバル人材の育成につなげる特色ある取組について調査を行った。

<主な質疑等>

- ・地元高校への進学状況、U I ターンへの影響について

